

1. 麻酔科術前外来で行うのはどれか。

(1) 病歴の聴取

(2) 術前一般検査

(3) 手術内容の説明

(4) 服用薬剤のチェック

(5) 麻酔のインフォームドコンセント

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)

d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：c

2. 次の検査の異常値と病態の組み合わせで正しいのはどれか。

a Cr ……………肝機能障害

b CK ……………腎機能障害

c ALT ……………心不全

d PT-INR ……………神経筋疾患

e Dダイマー……………血栓症

正解：e

3. ワルファリン投与中の患者について正しいのはどれか。

a PT-INR が低下する。

b 出血時間を測定する。

c アスピリンに変更する。

d ビタミンKで拮抗できる。

e 手術前日に投与を中止する。

正解：d

4. 見えているのはどれか。

- (1) 食道
- (2) 気管
- (3) 声帯
- (4) 喉頭蓋
- (5) 披裂軟骨

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
- d (3), (4) e (4), (5)



正解：e

6. 硬膜外麻酔の合併症として説明すべきことはどれか。

- (1) 頭痛
 - (2) 硬膜外血腫
 - (3) 誤嚥性肺炎
 - (4) 肺血栓塞栓症
 - (5) 末梢神経障害
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：b

7. 周術期の合併症について正しいのはどれか。

- (1) 腹腔鏡下手術は肺塞栓のリスクとなる。
 - (2) 挿管困難症で咽頭痛の発生頻度が高い。
 - (3) 悪性高熱症は術後に発症することはない。
 - (4) 麻酔管理が原因の死亡は1万例あたり7例である。
 - (5) 麻酔管理が原因の死亡では気道のトラブルによるものが最も多い。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：b

8. 手術当日まで内服を継続するのが一般的な薬剤はどれか。

- (1) β 遮断薬
 - (2) 冠拡張薬
 - (3) カルシウム拮抗薬
 - (4) アンギオテンシン II 受容体拮抗薬 (ARB)
 - (5) アンギオテンシン変換酵素阻害薬 (ACE 阻害薬)
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：a

9. 「自分のペースでなら2 km 歩くことができる」患者は Hugh-Jones 分類でどれに相当するか。

- a I 度
- b II 度
- c III 度
- d IV 度
- e V 度

正解：c

10. 呼吸機能評価として誤っているのはどれか。

- a NYHA 分類
- b 胸部 X 線写真
- c Hugh-Jones 分類
- d 動脈血血液ガス分析
- e パルスオキシメトリ

正解：a

11. 肥満患者について誤っているのはどれか。

- a 1 秒率が低下している。
- b 気道確保困難のリスクがある。
- c 機能的残気量が低下している。
- d 閉塞性睡眠時無呼吸症候群のリスクがある。
- e 手術中には PaO_2 の低下に注意が必要である。

正解：a

12. Child-Pugh スコアに含まれない項目はどれか。

- a PT
- b 胸水
- c 肝性脳症
- d 血清ビリルビン値
- e 血清アルブミン値

正解：b

13. 肝硬変の合併症として誤っているのはどれか。

- a 肝性脳症
- b 門脈圧亢進
- c 消化管出血
- d 血液凝固障害
- e 高ナトリウム血症

正解：e

14. 神経系を除く待機的手術に最低限必要な血小板数はどれか。

- a 1 万/ μl
- b 3 万/ μl
- c 5 万/ μl
- d 10 万/ μl
- e 15 万/ μl

正解：c

15. 出血傾向がある患者に対して必要な検査項目はどれか。
- (1) PT
 - (2) aPTT
 - (3) 白血球数
 - (4) 赤血球数
 - (5) 血小板数
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：b

16. 関節リウマチ患者の挿管困難の原因として最も考えられるのはどれか。
- a 小顎
 - b 球麻痺
 - c 開口障害
 - d 頸椎可動域制限
 - e 舌の可動域制限

正解：d

17. 妊娠に伴う生理学的変化として正しいのはどれか。
- (1) 凝固能低下
 - (2) 心拍出量増加
 - (3) 循環血液量増加
 - (4) 分時換気量増加
 - (5) 機能的残気量増加
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：d

18. 小児の術前外来について誤っているのはどれか。
- a 血縁者の麻酔歴を確認する。
 - b 身体所見の評価は口腔内診察から開始する。
 - c 麻酔導入時の保護者同伴も考慮して説明する。
 - d 麻酔導入で使用するマスクを見せて説明する。
 - e 風邪症状で手術延期の可能性のあることを説明する。

正解：b

19. 麻薬性鎮痛薬について正しいのはどれか。
- (1) 呼吸抑制作用を有する。
 - (2) フェンタニルはナロキソンで拮抗される。
 - (3) モルヒネはエステラーゼで加水分解される。
 - (4) レミフェンタニルはくも膜下投与が可能である。
 - (5) レミフェンタニルは血中濃度半減期がもっとも短い。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：b

20. 局所麻酔薬中毒について正しいのはどれか。
- (1) 意識消失を来さない。
 - (2) 脂肪製剤の投与により症状が増悪する。
 - (3) 局所麻酔薬の血中濃度の上昇が原因である。
 - (4) 口周囲の知覚異常は初期症状の一つである。
 - (5) 局所麻酔薬を繰り返し投与した場合に生じやすい。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：e

21. 硬膜外麻酔について正しいのはどれか。
- (1) 血圧低下に注意する。
 - (2) 硬膜穿刺後頭痛は立位で改善する。
 - (3) 硬膜外血腫はカテーテル抜去時には生じない。
 - (4) 硬膜外自己血パッチは硬膜穿刺後頭痛の治療法の1つである。
 - (5) 硬膜外膿瘍により神経症状が生じた場合には緊急手術を考慮する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：c

22. 手術当日に服用するのが好ましいのはどれか。
- (1) 抗痙攣薬
 - (2) 喘息治療薬
 - (3) 副腎皮質ステロイド
 - (4) ワルファリン
 - (5) 経口血糖降下薬
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：a

23. 日本麻酔科学会の『安全な麻酔のためのモニター指針』について誤っているのはどれか。

- a 心電図モニターを用いること。
- b 血圧測定は15分間隔で行うこと。
- c パルスオキシメータを用いること。
- d 全身麻酔ではカプノメータを装着すること。
- e 現場に麻酔を担当する医師が居て、絶え間なく看視すること。

正解：b

24. ソーダライムと二酸化炭素が反応して生成されるのはどれか。

- a 亜酸化窒素
- b 炭酸バリウム
- c 炭酸カルシウム
- d 水酸化バリウム
- e 水酸化カルシウム

正解：c

25. 1% ロピバカインと生理食塩液を用いて0.2% ロピバカイン溶液100 mlを作るには生理食塩液は何 ml 必要か。

- a 10
- b 20
- c 80
- d 90
- e 98

正解：c

26. 脈拍数を減少させる作用のあるものはどれか。

- a ドパミン
- b アトロピン
- c エフェドリン
- d ランジオロール
- e イソプロテレノール

正解：d

27. 誤っているのはどれか。

- a 放射線による影響は成人よりも胎児で大きい。
- b X線の被曝とガンマ線の被曝の身体的影響は等しい。
- c 医療従事者の放射線の線量限度は年間 50 mSv である。
- d X線の被曝は中性子線の被曝よりも身体的影響が大きい。
- e 1回の胸部 X線撮影による被曝は人体にほとんど影響しない。

正解：d

28. 正しいのはどれか。

- (1) ミクロショックは皮膚を介した電撃反応である。
 - (2) ミクロショックは 0.1 mA で心室細動をおこす。
 - (3) マクロショックは 1 mA で生じる。
 - (4) マクロショックは 100 mA で心室細動をおこす。
 - (5) マクロショックは体内の医療機器からの電撃反応である。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：d

29. ハラスメントの種類として誤っているのはどれか？

- a 不必要に身体的接触を行う…………… セクシャルハラスメント
- b 意図的に性的な噂をながす…………… パワーハラスメント
- c 処理しきれない仕事を無理やり課す…………… パワーハラスメント
- d 職務上の立場を利用して、私的な用事を押し付ける…………… パワーハラスメント
- e 明確な理由がなく、本人の希望しない研究テーマを押し付ける…………… アカデミック・ハラスメント

正解：b

30. 予防的抗菌薬投与について正しいのはどれか。

- (1) 入院中継続する。
 - (2) 手術前日から行う。
 - (3) 手術創の汚染度を考慮する。
 - (4) 長時間手術では追加投与を行う。
 - (5) 術中に十分な組織内濃度を維持する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：e

31. 正しいのはどれか。

- (1) ピアスは電気メス熱傷の原因になる。
 - (2) 入れ墨を入れる際に感染症になりうる。
 - (3) 入れ墨の色素によってCT検査で熱傷になる。
 - (4) 手術部位の入れ墨は電気メス熱傷の原因になる。
 - (5) 指輪を外せない場合は、バイポーラ電気メスの使用を検討する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：b

32. 正しいのはどれか。

- (1) 揮発性吸入麻酔薬は免疫抑制作用がある。
 - (2) 風疹は定期予防接種の二類疾患に含まれる。
 - (3) 生ワクチン接種後の手術は2週間間隔をあける。
 - (4) 不活性化ワクチンは主に液性免疫が誘導される。
 - (5) インフルエンザワクチンは不活性化ワクチンである。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：c

33. 体温について正しいのはどれか。

- (1) 体温の調節中枢は視床である。
 - (2) 自己免疫疾患は発熱の原因になる。
 - (3) 熱中症では体温設定点は変化しない。
 - (4) 術中モニタリングは深部体温を用いる。
 - (5) 発熱患者では体内酸素需要が減少する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：d

34. 抗血栓療法に関して正しいのはどれか。

- (1) アスピリンは血小板機能を可逆的に抑制する。
 - (2) 止血機構は損傷血管壁へ好中球が粘着し開始する。
 - (3) ワルファリンは肝臓での凝固因子合成を阻害する。
 - (4) 心筋梗塞の治療・予防に抗血栓療法が用いられる。
 - (5) 血管内で血液がうっ滞することにより血栓ができる。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：e

35. 正しいのはどれか。

- (1) 血小板の寿命は 30 日である。
 - (2) ワルファリンは血小板を抑制する。
 - (3) トロンビンはフィブリンを生成する。
 - (4) 血管の異常は血栓形成の原因となる。
 - (5) 抜歯は抗血小板薬内服中でも行える。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：e

36. 術後回復能力強化プログラムに関して正しいのはどれか。

- (1) 科学的根拠に基づく。
 - (2) 消化管機能不全は術後回復を遅らせる。
 - (3) 術後持続硬膜外麻酔は侵襲反応を軽減させる。
 - (4) 術前のカウンセリングは患者の不安を助長する。
 - (5) 早期離床することにより合併症発生が増加する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：a

37. 術後回復能力強化プログラムに関して正しいのはどれか。

- (1) 対象は開腹手術のみである。
 - (2) 硬膜外麻酔を併用することで消化管蠕動を抑制する。
 - (3) 短時間作用性麻酔薬の使用は経口摂取時間を早める。
 - (4) 手術中に体温を維持することにより創部感染が軽減する。
 - (5) 術前の経口炭水化物負荷はインスリン感受性の低下を防ぐ。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：e

38. WHO 安全な手術のためのガイドラインにおけるサインイン（麻酔導入前）の項目について誤っているのはどれか。

- a 同意書
- b 患者確認
- c 手術部位
- d アレルギー
- e 1,000 ml 以上の出血

正解：e

39. WHO 安全な手術のためのガイドラインにおけるタイムアウト（皮膚切開前確認）の項目について誤っているのはどれか。
- a 手術時間
 - b 予想出血量
 - c 必要な画像の準備
 - d チームメンバー全員の自己紹介
 - e 抗菌薬の手術 90 分前の投与終了

正解：e

40. アメリカ麻酔学会（ASA）の PS 分類について誤っているのはどれか。
- a PS-1 全身状態が良好な患者
 - b PS-2 軽度の全身性疾患を有する患者
 - c PS-3 高度の全身性疾患を有する患者
 - d PS-4 高度の全身性疾患を有し常に生命が脅かされる患者
 - e PS-5 臓器移植のドナーとなる脳死患者

正解：e

41. 中心静脈路確保に伴う早期合併症はどれか。

- (1) 感染
- (2) 気胸
- (3) 血胸
- (4) 血腫
- (5) 血栓

- a (1), (2), (3)
- b (1), (2), (5)
- c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4)
- e (3), (4), (5)

正解：d

42. Seldinger 法による中心静脈確保の手順で、以下のうち 4 番目に行うのはどれか。

- a 静脈穿刺
- b カテーテル挿入
- c ダイレーター挿入
- d ガイドワイヤー挿入
- e ガイドワイヤー抜去

正解：b

43. 末梢静脈路確保について正しいのはどれか。

- (1) 麻痺のある上肢を選択する。
 - (2) 穿刺時は上肢を心臓よりも低く保つ。
 - (3) 皮膚消毒は中枢側から末梢側に擦る。
 - (4) 血管の末梢側から中枢側へ穿刺する。
 - (5) 駆血帯は動脈の拍動が触知できなくなる強さで巻く。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：d

44. 声門上器具について正しいのはどれか。

- (1) 咽頭痛は生じない。
 - (2) 小児でも使用できる。
 - (3) 誤嚥は防止できない。
 - (4) 上気道閉塞を防止できる。
 - (5) 喉頭浮腫では良い適応である。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：d

45. 成人の迅速導入について正しいのはどれか。

- (1) 慎重なマスク換気を行う。
 - (2) イレウスの症例は適応である。
 - (3) 意識消失後、輪状軟骨を圧迫する。
 - (4) 気管挿管後、直ちにカフを膨らませる。
 - (5) 導入前に高濃度酸素を90秒間投与する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：d

46. 気管挿管の成功を確認する方法で最も確実なのはどれか。

- a 心電図
- b 胸部聴診法
- c 腹部聴診法
- d カプノメータ
- e パルスオキシメータ

正解：d

47. 気管支痙攣の危険因子として術前評価時において注意が必要なのはどれか。

- (1) 喫煙
 - (2) 高齢者
 - (3) 扁桃摘出後
 - (4) 気管支喘息
 - (5) 慢性気管支炎
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：c

48. 挿管困難セットに準備すべきものはどれか。

- (1) 声門上器具
 - (2) ビデオ喉頭鏡
 - (3) 筋弛緩モニター
 - (4) 観血的動脈圧モニター
 - (5) 輪状甲状膜穿刺セット
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：b

49. 脊髄くも膜下麻酔に必要な麻酔高で正しい組み合わせはどれか。

- (1) 鼠径ヘルニア……………T10
 - (2) 虫垂切除……………T10
 - (3) 帝王切開……………T10
 - (4) 経尿道手術……………S1
 - (5) 肛門手術……………S2
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解：b

50. 局所麻酔薬中毒の初期症状で正しいのはどれか。

- (1) 高熱
 - (2) 痙攣
 - (3) 多弁
 - (4) 耳鳴
 - (5) 掻痒感
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解：d

51. シバリングについて正しいのはどれか。

- (1) 高齢者では頻度が高い。
 - (2) 酸素消費量が増加する。
 - (3) 術後疼痛が発症要因になる。
 - (4) メペリジンは治療に有効である。
 - (5) 体温低下のない術後患者では生じない。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：d

52. 心房細動について正しいのはどれか。

- (1) 心電図でP波がみられる。
 - (2) 甲状腺機能低下症に合併する。
 - (3) 心拍出量が50%以上低下する。
 - (4) 心房内血栓の術前評価が必要である。
 - (5) 周術期には抗凝固薬の休薬期間を確認する。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解：e

53. 心電図波形について正しいのはどれか。

- (1) P波：心房の脱分極
 - (2) QRS波：心室の脱分極
 - (3) T波：心室の再分極
 - (4) PR間隔の短縮：I度房室ブロック
 - (5) QT間隔の延長：WPW症候群
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：a

54. 臓器血流の自動調節能がある臓器はどれか。

- (1) 脳
 - (2) 心臓
 - (3) 腎臓
 - (4) 小腸
 - (5) 骨格筋
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：a

55. 観血的血圧測定法について正しいのはどれか。
- (1) 動脈圧波形から脈拍数を算出できる。
 - (2) 動脈圧波形から心拍出量を推定できる。
 - (3) 大動脈弁閉鎖不全症では脈圧が低下する。
 - (4) 脱水時には陽圧換気による脈圧の変動が減少する。
 - (5) 足背動脈では圧波形上の大動脈弁閉鎖ノッチが消失する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：b

56. 中心静脈圧について正しいのはどれか。
- (1) 左房圧のことである。
 - (2) 右心機能を反映する。
 - (3) 呼気終末時に測定する。
 - (4) 正常値は10～15 mmHgである。
 - (5) 前腋窩線上でトランスデューサーのゼロ較正を行う。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解：c

57. 人工呼吸中の死腔はどれか。
- (1) 吸気回路
 - (2) 人工鼻
 - (3) 気管チューブ
 - (4) 気管
 - (5) 肺胞
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：d

58. 正しいのはどれか。
- (1) 間質性肺炎では1秒率が低下する。
 - (2) 気管支喘息では%肺活量が低下する。
 - (3) 残気量はスパイロメータで測定できない。
 - (4) 機能的残気量は予備呼気量+残気量である。
 - (5) 安静呼気時の胸腔内圧は-2～-4cmH₂Oである。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：e

59. 代謝性アシドーシスを示すのはどれか。

- a BEの上昇
- b PaCO_2 の上昇
- c PaCO_2 の低下
- d HCO_3^- の上昇
- e HCO_3^- の低下

正解：e

60. 末梢動脈血酸素飽和度の低い患者を手術室に搬送する時、患者搬送用ストレッチャーに写真のガスボンベが装着されていた。適切な対応はどれか。

- (1) ボンベの圧力を確認する。
- (2) 緑色のボンベに交換する。
- (3) 灰色のボンベに交換する。
- (4) 流量計を横向きに維持する。
- (5) ストレッチャーで安定していることを確認する。



- a (1), (2)
- b (1), (5)
- c (2), (3)
- d (3), (4)
- e (4), (5)

正解：b